

各種加里肥料との比較

[電気伝導度(EC)]

区分	カーボリッチ (重碳酸加里)	硫酸加里	塩化加里
加里塩施用 上昇値20kg/10a	0.03	0.26	0.37

mS/cm

(日本肥糧検定協会測定)

[含有成分]

区分	カーボリッチ (重碳酸加里)	硫酸加里	塩化加里
加里	46.86%	51.23%	60.45%
(炭酸ガス)	43.80	0.00	0.00
硫酸	0.01	44.31	0.04
塩素	0.00	1.70	47.15
石灰	0.02	0.33	0.07
苦土	0.01	0.06	0.07
水分	0.05	0.52	0.62
(pH)	(8.5)	(5.2)	(5.8)

(抜粋・日本肥糧検定協会分析)



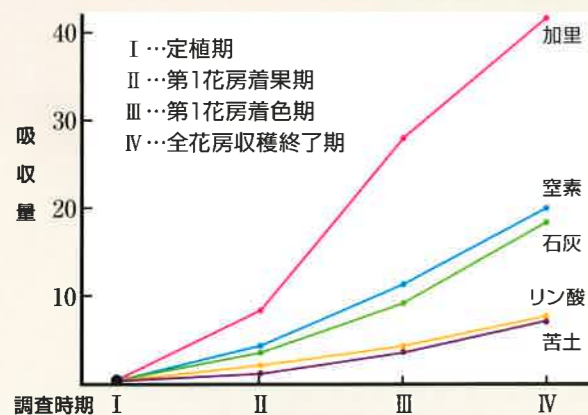
カーボリッチ

商品性(秀品率)を高める画期的な肥料

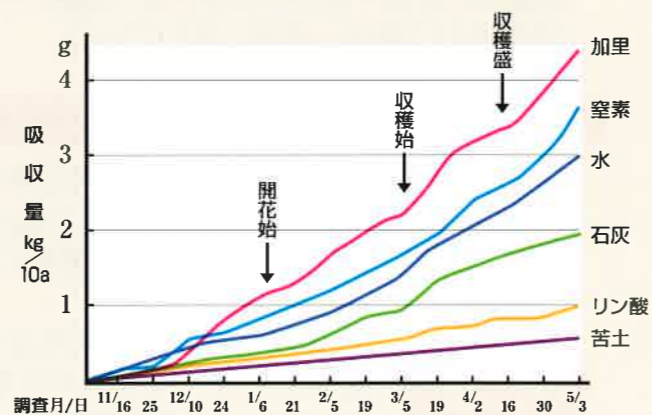
参考

作物が肥大するとき、加里の吸収が盛んになります(下図参照)。
作物の成長に応じたタイミングのよい加里の追肥が高収益のポイントです。

■半促成トマトの時期別養分吸収量の変化



■半促成イチゴの時期別要素吸収量経過



植物栄養土壌肥料大辞典抜粋



東亜合成株式会社

本店営業部 〒105-8419 東京都港区西新橋1丁目14番1号
TEL:03(3597)7282(ダイヤルイン)

大阪支店 〒530-0005 大阪市北区中之島3丁目3番3号(中之島三井ビル11F)
TEL:06(6446)6563(ダイヤルイン)

名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目4番6号(三井生命名古屋ビル6F)
TEL:052(209)8592(ダイヤルイン)

四国営業所 〒762-0004 坂出市昭和町2丁目4番1号(坂出工場内)
TEL:0877(46)3300(代表)

福岡営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目14番2号(福岡証券ビル4F)
TEL:092(721)1902(代表)

工場 名古屋、徳島、高岡、坂出、川崎

特約販売店

たしかな実りを。



カーボリッチ

肥大するとき、加里の吸収量は飛躍的に増加します。純粋な加里肥料の「**カーボリッチ**」を上手に効かすと、肥大生長をより向上させます。



カーボリッチには、こんな特長があります。

- 1 天然草木灰と同じ組成を化学的に合成した、炭酸ガスと加里からなる弱アルカリ性の肥料で、**土壌を荒らしません。**
- 2 他の加里に比べ、土壌中の**EC濃度上昇率が格段に低く**（硫酸加里の1/8、塩化加里の1/10）、土壌障害を起こしません。（EC濃度が上昇すると、作物の生育を妨げます。）
- 3 水に溶けやすく、土壌への浸透が極めて早く、速効性の肥料です。
- 4 炭酸ガスをタツプリ含んでおり（製品20kg当り4,474ℓ）、**炭酸同化作用を促進**したり、土壌を膨軟にし、酸素供給を高め、**根毛の発育を活発にします。**
- 5 追肥として使用すると、通常では効きにくい土壌中の窒素分を誘発したあと、加里分が吸収されるため、葉色を鮮明にし、新梢の徒長が一時的に止まるなどの効果が現れます。

対象作物

果菜類	なす、きゅうり、トマト、いちご、メロン、すいか、ピーマンなど
根菜類	たまねぎ、ごぼう、にんじん、にんにく、らっきょう、根しょうが、だいこんなど
芋類	さと芋、なが芋、やまと芋、さつま芋、じゃが芋、こんにやく芋など
豆類	あずき、いんげん、おくら、さやえんどう、落花生、そら豆、スイートコーンなど
葉菜類	ほうれん草、はくさい、キャベツ、ねぎ、にら、セルリー、ふき、カリフラワー、ブロッコリーなど
花き類	菊、バラ、カーネーション、チューリップ、りんどう、グラジオラス、球根など

作物に対する効果

- ①食味に優れ、鮮度が保持できる。
- ②果実の肥大が早く、成り疲れを防止する。
- ③着花歩合が向上し、耐病性を高める。
- ④成育を早め、「早出し」と「増収」が期待できる。
- ⑤連用するほど効果があり、秀品率を向上させる。
- ⑥木ばけ、つるぼけなど、窒素過剰を抑制する生長調整効果がある。

追肥が
より効果的
です。

カーボリッチの追肥施用方法

バラ撒き

ベッドの肩または、うね間へバラ撒きする。
※追肥のあと薄く灌水すると、土壌への浸透が速く、より吸収を早める。また、間隔をあけて窒素分を補給すると有効

施用量(10a)

液肥として

追肥としてカーボリッチを月2~3回に分けて単用施肥する。
(追肥のバラ撒きと重複しないこと。)

3~10kg

葉面散布液として

カーボリッチ溶液の500~1,000倍液を農薬散布と同時に葉面散布する。
新芽、新葉の頃は1,000倍液、生育が進むにつれて散布濃度を上げ、生育最盛期は、500倍液を葉面散布する。(農薬との混合は、下記注意欄参照)

元肥

有機質のNとPか、または化成肥料の場合、加里成分の低いものを選び、カーボリッチと堆肥を合わせて施用する。うねの上へカーボリッチをバラ撒きし、マルチングのあとを定植する。

⚠ 使用上の注意事項

- 追肥のバラ撒きの場合は、酸性肥料(化成肥料など)を施用したら、5~7日の間隔をあけてからカーボリッチを施肥してください。
- 液肥として施用する場合は、必ず単用で混合しないこと。なお他の液肥を施用するときは、カーボリッチ施用後1日間隔をあけてください。
- 施用量、施用用時期は、それぞれの地区の「施肥基準」に合わせて決めてください。
- カーボリッチは、ほとんどの農薬を混合できますが、一部の農薬とは、黄変や白濁することもあるので、小規模の混合散布を行って、薬害のないことを確かめてから使用するようしてください。

